小学校　算数

令和6年度
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、問題場面の数量の関係を捉えて持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ問題、円柱の展開図について側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ問題、家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを求める問題などが出題されています。

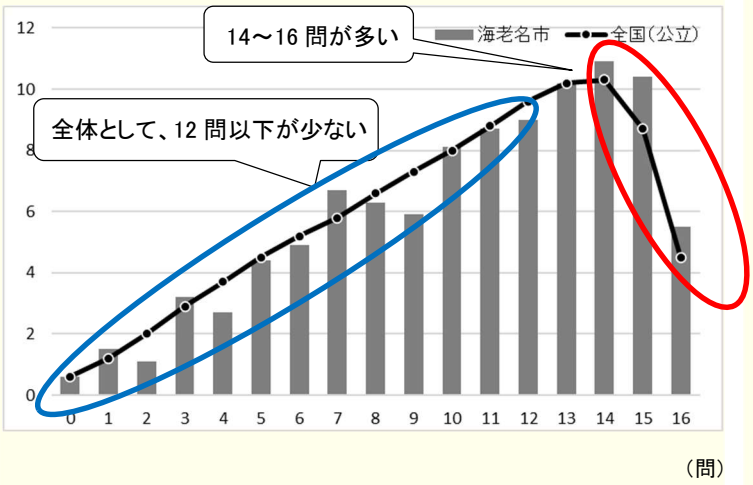
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	64.9%	64.0%	63.4%	1.5
平均正答数	10.4問 /16問	10.2問/16問	10.1問 /16問	0.3

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率

正答数分布グラフ

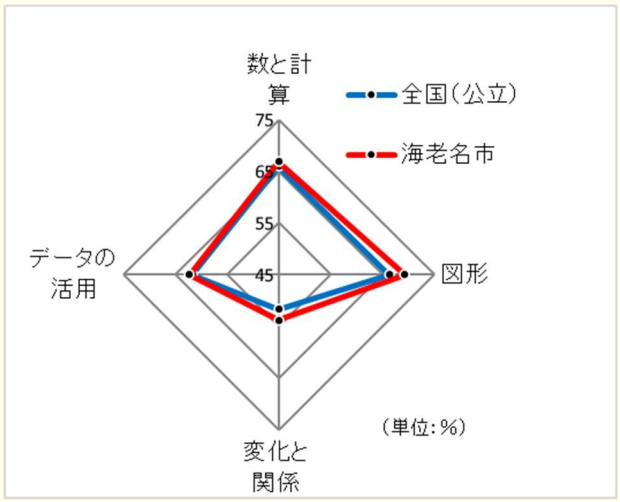
（横軸：正答数，縦軸：割合）



＊ 正答率50%以下(0～8問)の児童の割合は、全国と比較して下回っています。

＊ 正答率80%以上(12～15問)の児童の割合は、全国と比較して上回っています。

学習指導要領の領域等の平均正答率



＊ すべての領域において、全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国（公立）	全国との比較	海老名市	全国（公立）	全国との比較
学習指導要領の領域等	数と計算	6問	66.8	66.0	0.8	1.7	2.1	-0.3
	図形	4問	69.4	66.3	3.1	3.1	3.3	-0.2
	変化と関係	3問	53.8	51.7	2.1	2.7	3.4	-0.7
	データの活用	4問	62.3	61.8	0.5	4.6	5.6	-1.0
問題形式	選択式	5問	76.5	75.3	1.2	0.9	0.6	0.2
	短答式	7問	63.9	62.0	1.9	3.9	4.4	-0.5
	記述式	4問	52.2	51.0	1.2	3.4	5.1	-1.7

海老名市の結果についての分析

○今年度も平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて大きな差は見られません。

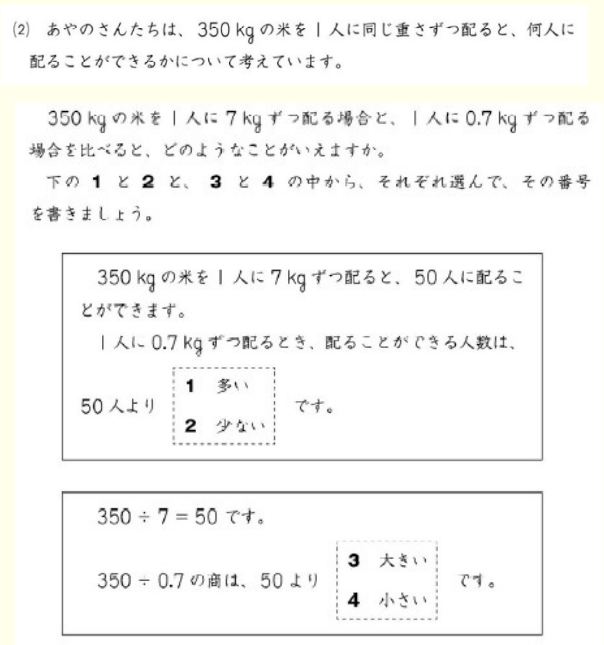
○正答率が全国を上回った問題は、16 問中 14 問です。また、正答率が 80%以上の問題は、16 問中3問（全国は2問）です。

○問題形式から見ると、記述式の問題の正答率が低いです。

○無解答率が全国より高かった問題は 16 問中6問です。

全国の正答率と差が見られた問題の例

小学校算数のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。



(2) あやのさんたちは、350 kg の米を 1 人に同じ重さずつ配ると、何人に配ることができるかについて考えています。

350 kg の米を 1 人に 7 kg ずつ配る場合と、1 人に 0.7 kg ずつ配る場合を比べると、どのようなことがいえますか。

下の **1** と **2** と、**3** と **4** の中から、それぞれ選んで、その番号を書きましょう。

350 kg の米を 1 人に 7 kg ずつ配ると、50 人に配ることができます。

1 人に 0.7 kg ずつ配るとき、配ることができる人数は、

50 人より [1 多い / 2 少ない] です。

350 ÷ 7 = 50 です。

350 ÷ 0.7 の商は、50 より [3 大きい / 4 小さい] です。

2 (2) 除数が１／10 になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ

趣旨　除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる

正答例　【番号】１、３
【わけ】350 kgの米を配る場面において、１人７kgず配るときよりも、１人に0.７kgずつ配るときの方が多くの人に配ることができるから

◇この問題の正答率
海老名市　66.6%　全国（公立）　69.1%
（全国との比較　−2.5）

考　察

○図形の領域及び内容について正しく理解しています。図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目できるように、作図や体験的な学習の時間を確保して指導している成果が表れています。

○除数が小数である場合の除法の意味や考え方について、正しく理解できていないと考えられます。問題内容を図に表すなど、具体的な場面と式を行き来できるよう指導を工夫する必要があります。

指導の改善にむけて

◆図形を構成する要素を見いだし、活用できるように

○図形を観察したり、構成したりする活動を通して、図形を構成する要素の共通点を見いだし、図形の性質について実感を伴って理解できるようにします。また、必要な情報を判断し、問題を解決できるよう指導していきます。

◆日常の具体的な場面と関連付けて考察できるように

○乗法の計算を工夫したり、除数と商の大きさの関係を考えたりする際には、日常の具体的な場面と式を関連付けて考察できるように指導していきます。

○除数が整数、小数の時の除法について、商の大きさが変化していることを見分けられるような図に表し、理解を深められるようにします。